

令和6年度の第26回入学式にあたり、教職員を代表して式辞を申し述べます。

入学生の皆様、蒲郡市立ソフィア看護専門学校へのご入学、誠にありがとうございます。

また、ご多忙中にもかかわらず、ご臨席賜りました大原副市長をはじめご来賓ならびにご父兄の皆様には、厚く御礼を申し上げます。

さて、入学願書から、皆様の看護師を志した理由を拝見しましたところ、多くのかたが、ご家族やご自身の治療経験から看護師に対する憧れを持つに至ったようであります。そして、その憧れから看護師を志すに至った動機は、患者さんだけでなくそのご家族への配慮や心のケアに感銘を受けて、ご自身も強くそのような看護師になりたいと思うように

なったとのことでもあります。このような心のケアまで行うことのできる看護師になるためには、私は人間力の高い人に成長していただく必要があると思っています。

人間力とは「社会を構成し運営するとともに自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」と定義されていますが、医療関係で「人間力の高い人」と言えば、コミュニケーション能力や自己管理能力が強く、患者さんの死に直面してもへこたれない強靱な精神力と社会貢献への強い使命感を持ち合わせ、誠実で倫理観が高い人と言えます。

この学校の3年間で受ける多くの経験が、人生の肥やしとなって皆さんを人間力の高い人に変貌させてくれると信じています。悩んだり苦しんだりすることもあると思います

が、一人で苦しまずに、友達や講師の先生に積極的に相談してください。まず隣の人に声をかけ、そこからクラスの輪を徐々に広げて行って欲しいと思います。このような人間関係の構築こそが人間力の高い人への足がかりとなり、心のケアができる看護師になるための第一歩であると私は信じています。

ところで、皆さんが本校を志望した理由の一つに、多くのかたが蒲郡市民病院を中心とした教育環境の充実を挙げておられました。とりわけ、母性・小児に関する教育が蒲郡市民病院によって潤沢に行われているところは、他の学校に比べて特筆すべきことと考えていますが、蒲郡市民病院では、中村院長をはじめ多くのスタッフが「大学病院と遜色のない医療を行う」というスローガンを掲げて頑張っています。私を含め、大学病院で働いていた、あるいは今も働いている先生が数多くお

られ、安全かつ最も効果の高い治療を実践しています。皆さんには、最先端医療を目の当たりにできる教育環境を十二分に享受していただき、ともに高度な医療を実践できるよう頑張っていただけばと思います。

さらに、蒲郡市内の多くの医療機関の協力により本校の教育が成り立っているということもご承知おきいただければと思います。今後も是非、蒲郡の地域医療に引き続き興味を持ち続けていただき、将来地元に戻元していただければと、切にお願い申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、日本の将来の看護を担う若者を励まし、3年後にはそろって国家試験に合格できるよう、その成長を温かく見守って頂けますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

本校での3年間の生活が、人生において掛
け替えのない有意義な時間になることを願
い、私の式辞といたします。

令和6年4月9日

蒲郡市立ソフィア看護専門学校

学校長 中西良一